

令和元年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 京都府 】

学校名【 井手町立井手小学校 】

1 実践テーマ	【 Ⅲ・Ⅴ 】
2 実施対象者	井手小学校全児童；全12学級・204名 ※取組によっては、学年を限定して実施
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（体育科・総合的な学習の時間） ② 行事名（ ） ③ その他（給食時間） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目 標 （ねらい）	(1) 一流アスリートとの出会いの中で、運動への関心を高め、『さあやってみよう』という「スポーツごころ」を育てる。 (2) オリンピアンからの指導を受けたことをはげみに、自身の記録に挑戦することによって、自信や希望を持って何事にもチャレンジする精神を育てる。 (3) パラ競技選手との触れ合いを通して、障がいのある方の苦勞や努力について知り、パラスポーツへの理解を深める。 (4) オリンピック・パラリンピックに関する掲示物や書物を通して、その意義や歴史について知り、オリンピックへの興味・スポーツへの関心を高める。 (5) 世界の料理や我が国の伝統的な料理を給食で提供することにより、オリンピック・パラリンピックが開催された国々の食文化について知る。
5 取組内容	(1) 井手町小学生陸上運動交歓記録会での交流（5・6年生／68名） ＜講師：佐藤光浩さん／アテネ五輪・4×400mリレー＞ ①事前指導：佐藤選手の活躍を収めたDVDの活用 ②オリンピックとの出会い（陸上交歓記録会当日・10月21日） ・準備運動、実技指導＜短距離走のスタート等＞



(2) パラリンピアン講演会（6年生／38名／12月18日）

＜講師：根木慎志さん／シドニーパラ五輪・バスケットボール＞

- ・夢に向かって頑張ることや何事にも一生懸命に取り組むことの大切さについての講話
- ・障がいとは人が作り出すものであり、同時に人がなくすことができるものである。



(3) ボッチャ体験（2・3年生／62名／11月28日）

＜南山城支援学校児童との交流＞

- ・パラリンピック競技ボッチャの体験



(4) オリ・パラ掲示板

- ・オリンピック・パラリンピックに関わる情報を児童に広めるための掲示板を設置

「ロゴマークの変遷」「マスコットの変遷」「各国のメダル獲得数」

「パラリンピック・クイズ」「東京五輪の新種目」等



(5) オリ・パラ給食

- ・12月13日に、東京都の郷土料理を取り入れた献立でオリ・パラ給食を実施。

- ・放送委員会の児童による給食時の放送。



今月は とうきょうと

東京都

大都会 東京都にも、昔から親しまれている郷土料理（江戸・野郎）や、郷土料理がたくさんあります。

- 湯川めし
昔、湯川（現在の江東区）辺りでは、あさり（あさり）が盛んに売られていました。湯川の人が仕事の手当に食べられるようにと「湯川めし」が考案されたのが「湯川めし」です。今日は湯川めしをいただきましたが、あさりに湯川めしにかけて食べるタイプもあります。
- ちゃんこ鍋
江戸の相模原で親しまれてきた鍋料理で、鶏肉や肉、野菜など、たくさんのおかずを入れて作り、汁の味もみそやしょう油、塩など様々な味です。茶碗、「ちゃんこ」とは、お相模原の郷土料理のものを指しますが、その中でも特に広く知られているのがこの「ちゃんこ鍋」です。

6主な成果	<p>(1) 事後の児童の様子から、「有名な選手と一緒にトレーニングができてうれしかった」「教えてもらったことを意識してやったら、100m走のスタートがうまくできた」など様々な感想が聞かれ、交流の成果がみられた。</p> <p>(2) 「目標を持って努力することが大切だと思った」「夢を持つことが素晴らしいことだと教えてもらった」「東京パラリンピックが楽しみ」「障がいはその人自身にあるものではなく、社会が作っているものだと気づかされた」などの感想が多くあり、競技に関する知識を深め、パラリンピックへの関心を高めると同時に、障がいについての理解も深めることができた。</p> <p>(3) 「チームの中で作戦を立てることが楽しかった」「思っていた以上に頭を使う競技だと思った」「東京パラリンピックで実際の競技を見てみたい」等の感想が聞かれ、パラリンピックへの関心を高めることができた。</p> <p>(4) 掲示板を見て、「パラリンピックの用具にはいろいろな工夫があることを知りました」「メダルが増やせるように日本にがんばってほしい」「チケットが当たり見に行くので、ぜひメダルを取ってほしい」など、様々な感想が寄せられるなど児童の興味・関心を高めることができた。</p> <p>(5) オリ・パラ給食は、毎年、シリーズ化して実施しているので、楽しみにしている児童も多い。今年度は東京にスポットを当てて取り組むことができた。東京の郷土料理というものはイメージできる児童も少なく、改めて我が国の食文化を知るきっかけとなった。</p>
7実践において工夫した点 (事業の特色)	<p>(1) オリンピアンとの出会いを効果的にするため、事前指導を実施した。</p> <p>(2) オリンピアンのスケジュールに合わせて、全体のプログラムを変更し、交流の時間を十分に確保できるようにした。</p> <p>(3) 指導していただいたトレーニング法を、体育科の指導に取り入れた。</p> <p>(4) 全員が体験できるように、チーム対抗にした。</p> <p>(5) 児童に分かりやすいテーマを設定し、クイズを取り入れるなど、興味を高めるようにした。</p> <p>(6) 給食の料理とともに、オリンピック・パラリンピックの情報も合わせて紹介する等、児童生徒に関心を持たせるよう工夫した。</p>
8主な課題等	<p>(1) 講師として来てもらうオリンピックの選定が難しく、日程調整等の事務手続きも大変である。</p> <p>(2) 単に掲示物を見るだけでなく、児童が実際にオリンピック・パラリンピック種目を体験できる機会を広げていく等、能動的な関わりを増やしていきたい。</p>
9来年度以降の実施予定	<p>児童のスポーツへの関心や運動への意欲、障がい者スポーツへの理解を高める上で、とても効果的な取組であり、来年度以降も継続していきたい。</p>